

令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

都道府県・
指定都市名

和歌山県

地域名

北山村・北山中学校区

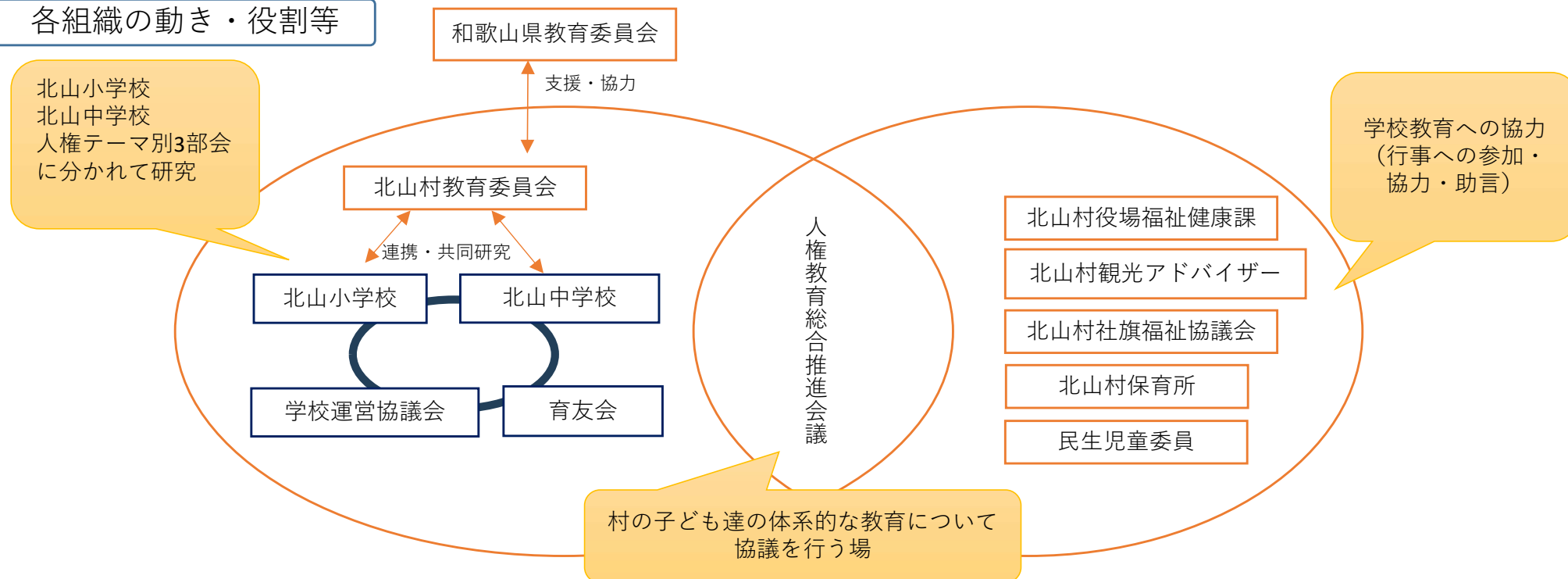
人権課題

高齢者、外国人、子供

目標・人権教育
のねらい

○村の将来を担う子供たちが、高齢者との関わり地域の実態を知ること、自ら課題を持ち取り組んでいくことを目指す。
○将来、避けて通ることのできない外国人や異文化について知り、多様な価値や考え方について理解する。
○自分達の未来を見据え、夢の実現に向かうために、鋭い人権感覚と豊かな心、確かな学力を身に着ける。

各組織の動き・役割等



校種間連携の
概要

○小・中学校の連携のために研修主任が中心となり、テーマ別に3つの部会（高齢者・外国人・子供）を設定し、学校9年間の体系的な教育を見通した協議を行った。
○毎月、定例で保育所・小学校・中学校・教育委員会の連絡会議を開催し、取組の共有を行った。

令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

地域・関係機関との連携の概要

- ・ 小学校、中学校、育友会、役場、社協及び教育委員会等で構成された人権教育総合推進会議において、それぞれの立場で啓発できること、協力できることについて協議した。
- ・ 研究の報告会を実施し、近隣の学校・保護者・地域に取組の状況や概要を報告し、協議を行った。

事業成果

知識的側面

- ・ 高齢者との交流活動を通して、地域の現状や高齢者が抱える課題について理解することができた。
(小学校・中学校)

評価の参考となりうる児童生徒の記述・発言等・・・社協での「デイサービス1日体験」で高齢者の方がそれぞれ生活の中で楽しいことなどの生きがいを持って生活していることがわかりました。(中学生) 福祉で働くことの大変さについて知りました。(小学生)

価値・態度的側面

- ・ 他校との交流学习を通じ、自分や他者のよさに気づき、書いたり、発言したりする場面が増えた。
(小学校・中学校)
- ・ 「命の授業」を通して、生命の尊さについて学ぶことで、自分や他者のことを大切にしようとする態度が見られた。

評価の参考となりうる児童生徒の記述・発言等・・・自分の命は大切にしないといけないのが改めてわかりました。(小学生) いつもの当たり前の生活の中でみんなで助け合いながら暮らしていくことが大切だと思いました。(中学生) 自分の人権も周りの人の人権も大切にしていきたいなと思いました。(中学生)

技能的側面

- ・ デイサービス等の体験活動を通して、高齢者等、困っている人の立場で進んで助けようとする姿が見られるようになった。(小学校・中学校)
- ・ 人権ワークショップを通して、地域の今後について考えることができるようになった。(小学校・中学校)
- ・ 海外への語学留学を通して、異文化交流を行ったことで他者と積極的にコミュニケーションをとれるようになった。(中学校)

評価の参考となりうる児童生徒の記述・発言等・・・人権ワークショップで学んだエコマップを使って、困っている人を助ける方法を考えていきたい。(中学生)